

「第24回ディベロップメンタルケア (DC) セミナー：ベーシックコース」

2019年10月19日(土)・20日(日)の両日において、慶應義塾大学信濃町キャンパスにて「第24回DCセミナー：ベーシックコース」が開催されました。今回のセミナーは、多様な職種の講師から、胎児期からの発達、新生児期から乳幼児期の愛着形成、親子の関係性やあたたかい心の育み方について講演が行われ、運動発達や環境調整等を含めた多角的な視点で赤ちゃんの成長・発達を捉える内容でした。また、乳幼児期だけでなく就学後の発達支援についても講演がなされ、集中治療を終えた後も続く連続した発達とその支援について考えさせられる、非常に学びの深い内容であった点が印象的でした。



(文：東京都立墨東病院 NIDCAP プロフェッショナル 坂口 隼)

「日本ディベロップメンタルケア (DC) 研究会 第1回公開講座」

この度、日本ディベロップメンタルケア (DC) 研究会で初めての取り組みとなります「第1回公開講座」を、2019年10月20日(日)に慶應義塾大学病院において開催致しました。講座では「赤ちゃん和家人のあたたかな心を育むー新生児医療と発達・育児支援」をテーマに、仁志田博司先生(東京女子医科大学名誉教授、日本DC研究会名誉顧問)、有光威志先生(慶應義塾大学)にご講演を賜りました。新生児医療における哲学的・倫理的な歴史や最新の研究成果に基づき、赤ちゃん和家人のあたたかな関係性の支援について多くの知見が提供されました。当日は、DCに関わる医師、看護師、心理士、療法士など医療関係者の方々に加え、お子さま連れのご家族、出産を控えるご夫婦など、100名近い多くの参加者で大変盛会となりました。日本DC研究会では、今後も公開講座を定期的開催し、赤ちゃん和家人のあたたかな心を育むための情報を広く発信していく予定です。次回も是非多くの皆さまにご参加いただけますと幸いです。また、今回の公開講座は、アトムメディカル株式会社、株式会社メディカ出版、ユニ・チャーム株式会社の各社にご後援をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。



(文：日本ディベロップメンタルケア (DC) 研究会 会長 大城 昌平)